

もりおかと映画のはなし

盛岡の中心市街地にある映画館通り。盛岡と映画との関わりは明治から大正時代、活動写真や大衆演劇などが、専門の劇場で上映されたことに始まります。昭和10年頃になると、多くの映画館が大通りに開館し、軒を連ねたことから「映画館通り」と呼ばれるようになりました。

盛岡の財産である映画館通りで映画によるまちづくりに力を注いできた皆さんにお話を聞きました。



暮らす人の近くに あるもの

Q. 盛岡における映画とは？

高橋さん：盛岡には全国でも珍しい「映画館通り」があり、みんなに愛されてきました。

工藤さん：映画館通りが街なかにあることで、気軽に映画を見られるのは大きな魅力。その環境は盛岡出身の多くの映画関係者に影響を与え、さらには国際映画祭をやるとういう熱意のある人々を生み出してきました。

こういったコミュニティが生まれる文化を残し、記録してメッセージを発信する、そしてそれを受け継ぐ人がいるのも盛岡ならではです。

高橋さん：映画館通りを作ってきた人や、映画を身近に感じてきた人が、今の「映画の街もりおか」を守り、発展させてきたのだと思います。

映画は、みんなで見ることに特別な力があります。震災後まもなく、宮古の小さな映画館ではスクリー

ンの主人公たちに子どもたちが声援を送る姿がありました。みんなで一緒に笑ったり涙したり、一体感を持って楽しんで、時には知らない人とも語り合えるような高揚感を生むのが映画なのだと思います。

工藤さん：私たちは公園や川のそばなどさまざまな場所で上映会を開催してきました。お客さんは幅広い年齢層でしたが、皆さんとても映画を楽しんでいました。上映する場所が変わっても、作品に力があればみんなで楽しむことができます。その力を生かしていけば、「映画の街」の雰囲気をもっと浸透し、盛岡に関わる全ての人が、盛岡をより一層好きになると信じています。



映画には一体感を作り出すチカラがあります

映画のキャロプロジェクト
代表 工藤 昌代さん(写真右)
副代表 高橋 大さん(写真左)

平成23年、東日本大震災津波の後、大友啓史監督の呼びかけをきっかけに発足。「盛岡映画祭2012~2013」の実行委員を務めるほか、映画を通して、市民や街が元気になるようなイベントなどを企画している。

MORIOKA 4 THEATERS
個性豊かな
市内4つの映画館を
ピックアップ!

盛岡ピカデリー(中央通一)・盛岡ルミエール1・2(菜園二)

盛岡で興行を60年、今も「いらっしゃいませ」とあいさつをして、チケットを受け取る。この距離感が好きと通ってくれるお客さんがいます。心を奮い立たせる作品を、スクリーンを通して映画ファンに届けたい。映画館通りを大切に、盛岡に映画の灯を残したいです。

愛される劇場でありつづけて
映画ファンに
南部興行株式会社 社長 小暮 信人さん

盛岡の街と人と映画をつなぐ場づくりを!

フォーラム盛岡(大通二)

映画のテーマに合わせたイベントを市内のお店と共同開催するなど、映画と街歩きを楽しめるのが当館の魅力です。周辺には魅力あふれるお店がたくさんあります。また、盛岡さんさ踊りの時は、ゆかたで映画を楽しむ人も多いなど、催しの時は映画館と街なかの一体感がありますね。

フォーラム盛岡 マネージャー 小原 拓郎さん

中央映画劇場(大通一)

市民みんなが楽しめる作品を上映しています

幾田 和実さん
取締役社長

当館は、若い人に映画館で映画を見る楽しみを知ってほしい、また映画館で見ることから離れていた人に思い出してほしいという思いで10年以上前から「午前十時の映画祭」を開催しています。最近では作品に懐かしさを感じているお客さんも多いですね。そういった点では、盛岡の映画文化の継承の一翼を担っているのかなと感じています。

もりおかと本のはなし

盛岡は平成29年に1世帯あたりの書籍購入金額が全国1位になったことがある※など、読書好きが多い街です。市内には店舗の大小だけでなく、商品の取り扱いや書店としての新たな取り組みなど、それぞれの特徴を持った書店が多くあります。さまざまな書店で本を選ぶことができる楽しさ、そんな環境が、読書好きを多く生み出しているのではないのでしょうか。

盛岡で50年以上にわたり書店を営む2店舗で、盛岡と本の関係についてお話を聞きました。
※「政府統計の総合窓口(e-Stat)」、調査項目を調べる 一家計調査(総務省)教養娯楽「書籍」



株東山堂(中ノ橋通一) 店売部 副部長 神 麻子さん

ゆかりの作家さんが多いのも盛岡の特長。郷土コーナーも充実していますよ

当店は、明治38年創業で市内に5店舗、北上市に1店舗展開しています。肴町本店では、お店のレトロな雰囲気も味わっていただけるよう木の仕器等を残すなど、全ての店舗でお客さんがふらっと立ち寄れるよう、垣根のない店づくりをしています。

盛岡に住んでいないとなかなか買えない、盛岡ゆかりの作家のサイン本を取り扱うなど、地元の本を打ち出すことも大切にしています。書店に来てもらうことで予期せぬ本との出会いがあるので、ぜひ気軽に足を運んでください。



人と街が育んできたもの

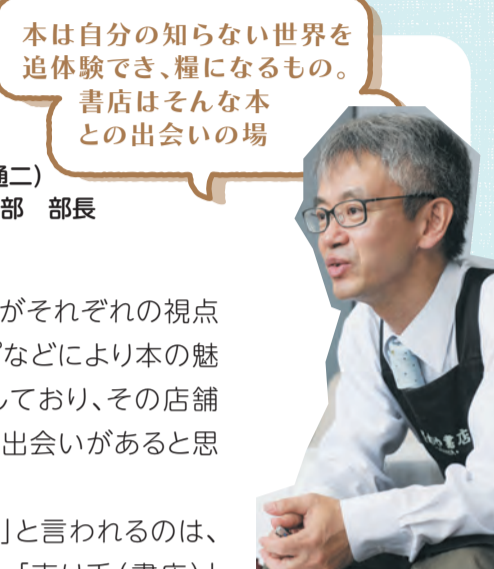


Q. 盛岡における本とは？

株さわや書店(大通二) 外商部兼商品管理部 部長 栗澤 順一さん

当店はスタッフがそれぞれの視点で手書きのポップなどにより本の魅力を自由に紹介しており、その店舗ならではの出会いがあると思います。

盛岡が「本の街」と言われるのは、「書き手(作家)」と「売り手(書店)」と「読む人」がつながり、いいあふれに循環が成り立っているからではないでしょうか。また、盛岡には「映画」や「演劇」そして「喫茶店」という人が集まる場があって、文化が育まれてきたように感じています。ぜひ街の書店やさまざまな場所に足を運んで、その雰囲気を味わってください。



本は自分の知らない世界を追体験でき、糧になるもの。書店はそんな本との出会いの場

あなたも街に出て、新しい映画や本と出会ってみませんか？

MORIOKA CINEMAS AND BOOKS

映画と本の魅力を存分に味わえる
CINEMAS AND BOOKSを楽しもう

盛岡にゆかりのある映画や本(書籍)などをテーマにしたイベント「MORIOKA CINEMAS AND BOOKS」。盛岡と映画、本との関係性がわかる資料や作品を展示します。新たな盛岡の魅力や楽しさを発見できるイベントへぜひお越しください!

※詳細が決まり次第、「盛岡という星」で公式ホームページなどでお知らせします

【場所】盛岡という星でBASE STATION(菜園一)
【問】都市戦略室内、盛岡ブランド市民推進委員会
☎613-8370

詳しくは「盛岡という星」公式ホームページへ



9月のイベント

ヒストリー・オブ・シネマストリート
映画最盛期の映画館通りの様子がわかる写真や会報誌など、貴重な資料を展示します。他にも映画が見たくなる情報が盛りだくさんです。

盛岡関連本コレクション
盛岡を本から学ぶコレクション! 書店の魅力をイラストで見たり、本に関する仕事をする人の本棚をのぞき見したりする展示などを開催します。

10月のイベント

ミニシアター上映会・トークディスカッション(予定)
映画館と書店を題材にした2作品を会場内のミニシアターで上映します。また、映画に関する仕事をする人や、書店で働く魅力あふれる人たちのトークディスカッションも開催します。

プレミアム付き
飲食・映画鑑賞
チケット販売!

市内の映画館で利用できる映画鑑賞券と、中心市街地などの飲食店で利用できる共通飲食券がセットになったチケットを11月頃に販売する予定です。

【問】経済企画課内、「映画の街盛岡」推進事業実行委員会事務局
☎613-8389

市長コラム

盛岡は、多くの作家を輩出し、文化活動に関わる人が多い文化の薫り高いまちであると思います。長く市民に親しまれてきた「映画館通り」には、現在も複数の映画館があり、街の賑わいには欠くことのできない存在です。これらは、市民の皆さんが文化を守ってきた結果です。ぜひ、今後もこの素敵な文化を継続させるために、映画館や書店に足を運び、お気に入りの映画と本、それらに関わる人に出会っていただきたいです。

盛岡市長 谷藤 裕明